

森本達夫博士記念号の発刊に際して

森本達夫教授は、2016年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。森本達夫教授は、1975年4月に関西学院大学大学院文学研究科博士課程（仏文学専攻）にご進学の後、1976年10月にはフランス政府給費留学生としてパリ第三大学演劇研究所博士課程に留学されました。留学を終えられた後、1980年3月には文学研究科博士課程を満期退学され、1981年4月に近畿大学教養部に専任講師としてご就任されました。

また、近畿大学ご在職中の1983年1月には、パリ第三大学より博士号（演劇学）を取得され、1984年4月には助教授とされました。そして、1997年4月に教授として関西学院大学商学部にご就任されました。商学部においては、フランス語を中心とする講義をご担当され、さらに2000年8月からは、関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科において舞台言語などの講義をご担当されました。

森本達夫教授は、フランス演劇を中心とする演劇学をご専門とされますが、その造詣は広くフランスの言語、文化、歴史に及び、1984年にはフランスで *Fonctions du rire dans le théâtre français contemporain* を、また2015年には日本で『ごっこ遊びが生む笑いー私の出会ったフランス喜劇』を刊行されました。また、日本フランス語フランス文学会と日本演劇学会を中心に幅広く学会でもご活躍

になりました。

森本達夫教授は、ご専門のフランス演劇の中でもとりわけ喜劇の領域において多大な研究成果を上げられました。かかる研究領域とそこでのご研究の特徴は、その洒脱なお人柄にも大きく表れ、先生を慕う学生が、フランス語の授業のみならず、フランスの文化にまつわる講義や演習に数多く集いました。そして彼らは、主としてビジネスを学ぶ商学部にありながら、人文科学領域における知的好奇心を存分に満ち、ヨーロッパ的な教養を幅広く身にまとい、実業界へと巣立って行きました。

森本達夫教授の関西学院大学商学部でのご在職は19年間の長きに及びましたが、いよいよ先生をお送りするのを迎えることとなりました。私たちは今、森本達夫先生をお送りするにあたって、これまでの先生のご貢献を銘記し、記念するために、そしてまた先生への深い感謝の気持ちを表すために、ささやかではありますが、この論集を編んで先生に捧げます。先生の今後のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、後進の私どもを変わらずお導き下さいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この記念号の刊行に際してご寄稿下さった先生方、ならびに編集に携わって頂いた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2016年3月

商学部長 寺地孝之